

平成14年度研修プログラム再構築プロジェクトチーム報告

1 プロジェクトチームの設置

法人化後の大学図書館職員のスキルアップを進めていくために、従来の研修プログラムを見直すとともに新たな研修プログラムを構築することを目的として、設置されることが図られた。

ただし、理事館からの意見により、チームの役割を 従来、文部科学省、国立情報学研究所及び国立大学図書館協議会が実施してきた研修プログラムの問題点の抽出、国立情報学研究所における新たな研修プログラムについての調整、の2点とすることにして、新たに設置されることになっている「研修特別委員会」の本格的検討に引き継ぐことになった。

2 プロジェクトチーム打ち合わせ

2月13日東京大学においてプロジェクトチーム打ち合わせを行い、プロジェクトの任務及び東京大学、千葉大学とNIIとの協議の経緯について確認をし、チームメンバーの役割を分担した。また、作業を進めるにあたっては、以下の点を念頭に置くこととした。

- ・東京大学及び千葉大学とNIIとの協議を引き継ぐ。
- ・当面の役割は限定されているが、検討にあたっては、大学図書館職員の専門性の向上という観点から総体的な研修プログラムを念頭におく。
- ・大学図書館のコア・コンピタンスに基づく研修プログラムのあり方を考える。
- ・経験年数、対象業務等の基準軸を設けて、研修プログラムの体系化を考える。
- ・国大図協として実施すべき研修関連事業についても考慮する。

3 NII との調整について

NIIが新たな研修プログラムを平成16年度概算要求することについて、調整を行った。すなわち、新たな研修プログラムとして、「情報リテラシー教育担当者研修」(仮称)、「電子情報担当者研修」(仮称)、「デジタルライブラリアン養成研修」(仮称)を提案するとともに、従来NIIが実施してきた研修プログラムについて見直しを要望した。

NIIから以下の意向が伝えられた。

- ・概算要求については、大学図書館から要望があることが有利な条件となるので協力をお願いしたい。
- ・平成15年度については、前倒しで実施することを考えている。
- ・研修プログラムの内容(カリキュラム等)については、今後も協議を続けたい。

4 作業報告書の作成

約 3 ヶ月の活動を「研修プログラム再構築プロジェクトチーム報告書」としてまとめ、提出した。

プロジェクトチームメンバー

早瀬 均 （東京学芸大学附属図書館事務部長） 主査

青木利根男 （横浜国立大学附属図書館 平成 15 年 3 月 31 日まで） 現学術振興会総務部システム管理室長

片山 俊治 （群馬大学附属図書館情報サービス課長）

内島 秀樹 （東京外国語大学附属図書館専門員 平成 15 年 3 月 31 日まで） 現東京大学附属図書館総務課専門員

大場 秀穂 （国立情報学研究所国際・研究協力部成果普及課長） オブザーバ